

淡江大學 100 學年度碩士班招生考試試題

118-1

系別：日本語文學系

科目：翻

譯

考試日期：2月28日(星期一) 第3節

本試題共 4 大題， 2 頁

一 文章日翻中 50%

1 象よ。キツプリングは昔お前の先祖が、鱧に鼻を啣へられたものだから、未だにお前まで長い鼻をぶら下げて歩いてみると云った。が、おれにはどうしても、あいつの云ふ事が信用出来ない。お前の先祖は仏陀御在世の時分、きつとガンヂス河の燈心草の中で、昼寝か何かしてゐたのだ。すると河の泥に隠れてゐた、途方もなく大きな蛭が、その頃はまだ短かつた、お前の先祖の鼻の先へ、吸ひついてしまつたのに違ひない。さもなければお前の鼻が、これ程大きな蛭のやうに、伸びたり縮んだりはしないだらう。象よ。お前は印度の名門の生れた。どうかおれの云つた通り、あのキツプリングの説などは口から出放題の大法螺だと、先祖の冤を雪ぐ為に、一度でも好いからその鼻をあげて、喇叭のやうな声を轟かせてくれ。15% (芥川龍之介『動物園』より)

2 ひとつには子供のときから同質社会に住んでいて、まったく異質な文化を持った人間とのせめぎ合いをほとんど経験していないせいでもあるでしょう。黙っていてもわかってもらえるという期待感が多くの日本人にはあるわけです。アメリカ人なら納得できないことがあると、すぐボスのところへ行って、何であなたは私のことがわからないのかとはっきり自分の意見を主張する。ところが日本人の場合は、これくらいのことはわかしてもらいたい、また仮に今わかってもらえなくても、いつかわかってもらえると思つてすませてしまうわけです。だから外国の社会に入つても、ここまで言わなくてもわかってもらえるだろうと判断する。これだけ当方が誠意をみせたのだから相手はわかってくれると考えてしまうのです。そんな感覚が通用するのは日本国内だけで、欧米諸外国では、まずだれもわかつてはくれないのです。以心伝心なんて絶対にありえない。 15% (盛田昭夫、石原慎太郎『「ノー」と言える日本』より)

3 ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理依頼ができない場合、別紙に記載してある全国サービスネットワークをご覧の上、お近くの当社サービス窓口へご相談ください。 10% (王浩智『中国語翻訳作法』より)

背面尚有試題

本試題雙面印刷

- 4 その間、二人は二、三度人々におされて体をぶっつけ合ったし、彼は彼女が人に押された弾みに落した手提袋を人々の足からまもって拾ってやった。 10% (野間宏『残像』より)

二 文章中翻日 30%

- 1 日本東京都為了設法增加綠地，於是訂定了一項規則。這項規則規定自 2000 年 4 月開始，新蓋大樓時屋頂上的面積的百分之 20 以上，必須種植樹木和花草等綠色植物。10%
- 2 A 茶系列，產自台灣海拔 800 公尺以上的涼爽山區，水氣豐沛、氤氳飄渺。茶園內引天然山泉灌溉；四周原始森林環繞，雲霧山嵐相共。全程以人工種植、施肥、採製，堅持天然。 10%
- 3 我站櫃台 30 年，深深體會到，服務態度從根本上來說，就是一個禮貌問題。 5%
- 4 我才在想最近怎麼都沒有聽到小孩子的聲音，原來隔壁的鄰居好像是搬家了。 5%

三 詞彙日翻中 10%

1. バリアフリー 2. ラニーニャ 3. 振込み 4. 気が気でない 5. 鼻をうごめかす
6. エコロジー 7. インフラ 8. 横ばい 9. よそおう 10. あいづちを打つ

四 詞彙中翻日 (答案漢字部份請用平假名寫上讀音) 10%

1. 臭氧層 (名詞) 2. 條碼 (名詞) 3. 裁員 (名詞) 4. 估價 (名詞)
5. 看作 (動詞) 6. 代墊錢 (動詞) 7. 敏銳的 (形容詞) 8. 吹噓 (動詞)
9. 膽固醇 (名詞) 10. 票房收入 (名詞)